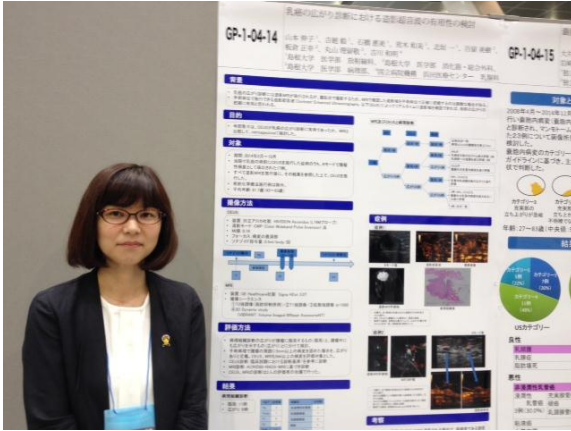




- 2015年7月2-4日、東京で行われた第23回日本乳癌学会学術総会に参加しました。
- 今回のテーマは、「明日を拓く、乳癌のチーム医療 One for All, All for One」でした。
- 医師のみでなく、技師さんや看護師さんの参加も多いようで、会場のあちこちで行列や立ち見ができており、参加者の熱意の伝わる学会でした。



- 今回は造影超音波に関する発表をポスターでしました。初日の午前8時からであったため人もまばらで、ポスターは午前・午後張り替えのため12時には撤去となり、あっけない感じでした・・・
- 夕刻からポスター会場ではWine & Cheeseコーナーが設置され、ほろ酔い気分でdiscussionをしている人たちも見られ、和やかな雰囲気でした。

- その後は画像診断関係のシンポジウムや教育セミナーを聴講し、ポスター発表も見て回りました。
- マンモグラフィではトモシンセシスの有用性についての発表、超音波では40歳代の超音波併用検診についての大規模RCTの結果についての講演が印象に残りました。
- 企業展示は医療機器や製薬メーカーだけでなく、かつらや下着、マッサージ器など患者さんのケア向けのものも多く出展されており、放射線学会とは違った雰囲気でした。

- 今回は、ご当地ピンクリボンバッジの「P-1グランプリ」も学会期間中に開催され、見事しまねっこピンクリボンバッジが第3位となりました！
- ブースではしまねっこも登場し、別の意味で盛り上がっていました。



中村大会長より表彰状を受け取る吉川先生



- 乳腺漬けの3日間で、頭がややパンク気味となりましたが、とても有意義な時間となり、モチベーションも上がりました。
- また来年も参加したいです。(山本)